

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年												2025年							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~5日	1月 ~12日
カンピロバクター	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	50	39	41	50	50	37	36	3	3
病原性大腸菌	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	76	83	70	86	49	46	33	1	4
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0
サルモネラ	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	8	12	29	13	12	7	6	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	21	11	17	24	5	6	4	1	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	10	8	6	21	12	8	13	1	1
腸炎ピブリオ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1	5	1	2	0	1	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
アデノウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0
ノロウイルス	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	0

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和7年第2週(1月6日~1月12日)

#### 2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7	1	1	3		2		
三類	0	発生なし	0							
四類	1	デング熱	1					1		
		レジオネラ症	1	1						
五類	20	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	1						
		急性脳炎	2				1	1		
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3				2			1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	2						
		侵襲性肺炎球菌感染症	2				1	1		
		梅毒	7			1	2	1	3	
		百日咳	3					3		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

# 週報③

## 広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 7年2週(1月6日～1月12日)

### ■コメント

#### 1 インフルエンザ

定点当たり30.92人の報告がありました。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

#### 2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり3.42人の報告がありました。  
県内では、第52週に東部保健所管内で医療ひっ迫注意報開始基準値(定点当たり8人)以上となったため、1月9日、県内全域に「新型コロナ医療ひっ迫注意報」が発令されました。  
手洗い、換気、マスク着用推奨場面(医療機関や高齢者施設等の訪問時)でのマスク着用など感染予防対策を徹底しましょう。

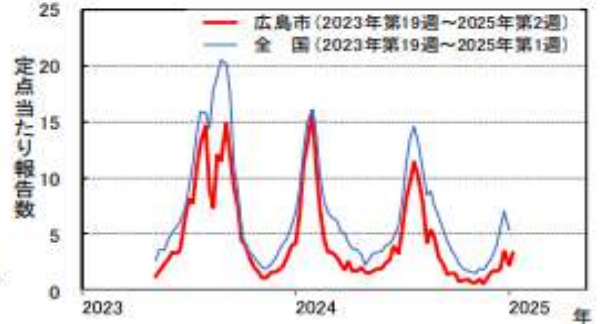
#### 3 デング熱

今年初めての報告が1件ありました。国内で報告されるデング熱は、近年は、ほとんどが輸入症例(日本国外で感染)です。流行地域を訪れる際は、できる限り肌の露出を避け、虫よけスプレーを使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう。また、海外から帰国後、発熱等体調異常がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

【参考】デング熱(Dengue Fever)(厚生労働省 検疫所) <https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/name33.html>



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況



### ■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	1113	30.92	5.97		小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.05	
	新型コロナ(COVID-19)	123	3.42				流行性耳下腺炎	-	-	0.03	
小児科	RSウイルス感染症	5	0.22	0.24		眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	-	
	咽頭結膜熱	9	0.39	0.67			流行性角結膜炎	16	2.00	0.55	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	1.00	1.06		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	136	5.91	6.34			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	8	0.35	0.24			マイコプラズマ肺炎	14	2.33	0.03	
	手足口病	2	0.09	0.28			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	4	0.17	0.17			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	5	0.22	0.17							

急増減 ↑ (赤)

増減 ↑ (黄)

微増減 ↑ (白)

横ばい → (白)

前週と比較しておおむね1:2以上の増減

前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

前週(第1週)は、年末年始の休診により、報告数が影響を受けている可能性があり、今週(第2週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

### ■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	2	50歳代、70歳代
4	デング熱	1	1	20歳代・推定感染地域: 国外
5	急性脳炎	1	1	10歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	2	40歳代、50歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1	80歳代
5	梅毒	2	2	20歳代、30歳代
5	百日咳	3	3	10歳代、60歳代、70歳代